#HijiyamaR 2015/5/23

## ggplot2によるグラフ化

紀ノ定保礼

### 本日の発表の目的

- ■可視化ツールとしてのggplot2の紹介
  - ■①すでに要約されたデータをグラフ化する
    - ■例: A群は平均3点, B群は平均5点(t(19)=3.25,p<.05)
      - ■慣習的に行われる, 文字 → 図 の変換を補助する役割
  - ■②探索的に,変数(間の関係)を理解する
    - ■ごちゃごちゃしたデータ(Row data)を用いることも多い
      - ■変数を入れ替えやすいこと
      - ■複数の変数を同時に表示しやすいこと

が重要

■ ③データを視覚的に要約する

### 本日の発表の目的

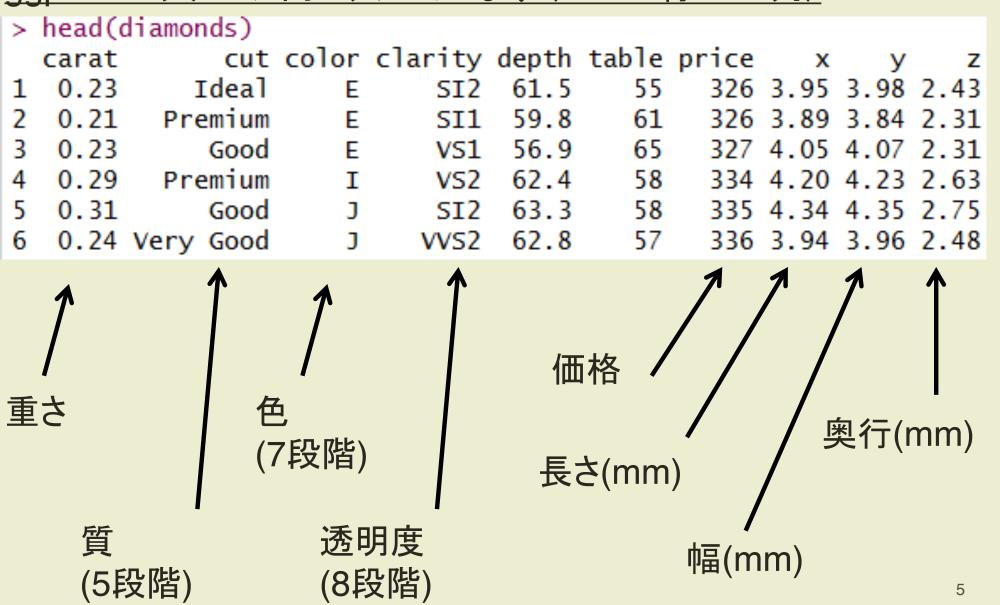
- ■可視化ツールとしてのggplot2の紹介
  - ■①すでに要約されたデータをグラフ化する
    - ■例: A群は平均3点, B群は平均5点(t(19)=3.25,p<.05)
      - ■慣習的に行われる,文字 → 図 の変換を補助する役割
  - ■②探索的に,変数(間の関係)を理解する
    - ■ごちゃごちゃしたデータ(Row data)を用いることも多い
      - ■変数を入れ替えやすいこと
      - ■複数の変数を同時に表示しやすいこと

が重要

■ ③データを視覚的に要約する

### サンプルデータ: diamonds

### ggplot2パッケージ内に入っています(53940行×10列)



### データが多いもので...

■いったん500行に減らしておきましょう

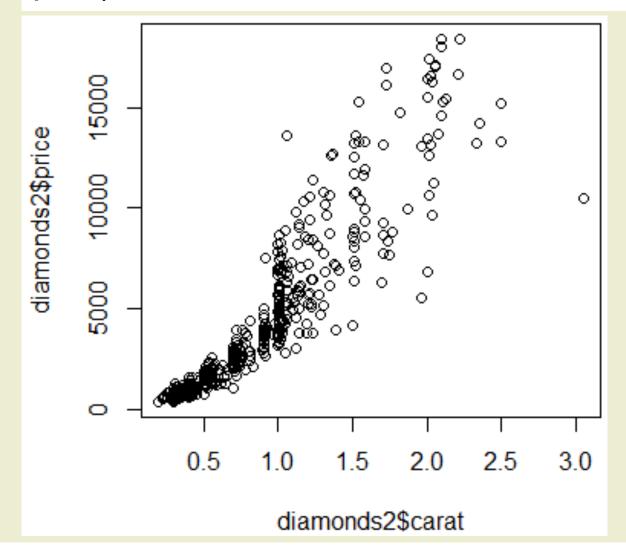
library(ggplot2)

diamonds2 <- diamonds[sample(nrow(diamonds),500),]

※注)ggplot2の前にdplyr及びplyrパッケージをロードする 場合は、必ずplyr → dplyrの順に

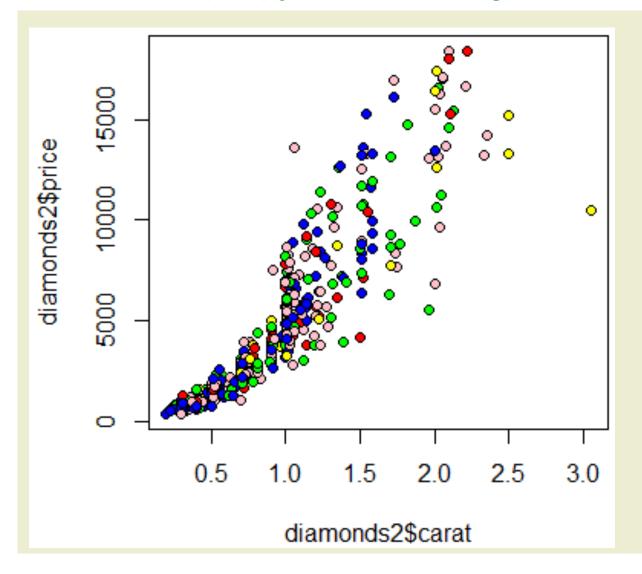
### 重さと価格の関係をみる

■従来のbaseパッケージで描画する場合 plot(diamonds2\$carat, diamonds2\$price)



### せめて、質(5段階)別に関係を理解したい

plot(diamonds2\$carat,diamonds2\$price, pch=21,bg=c("yellow","red","green","blue","pink")[diamonds\$cut])

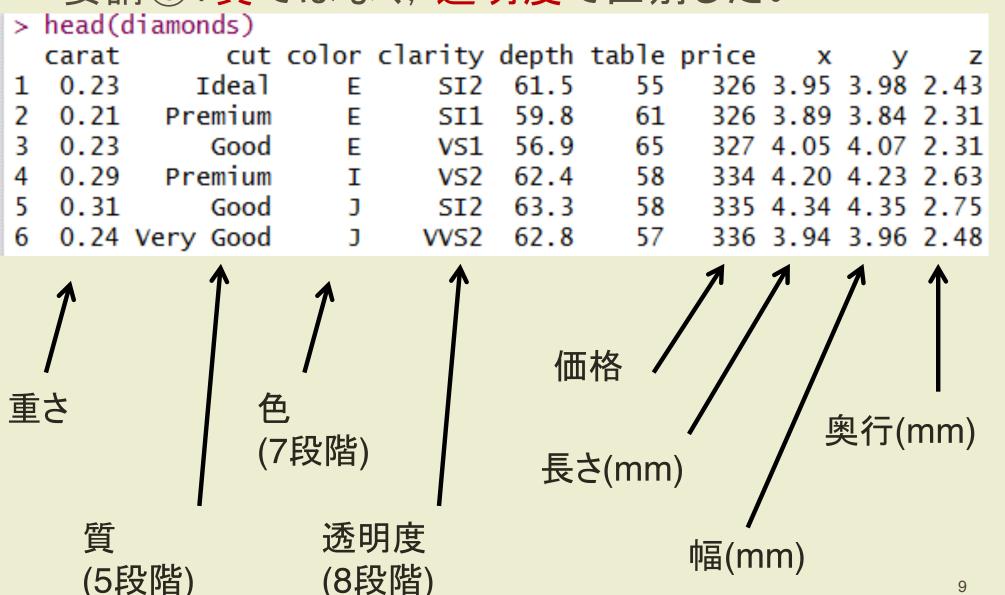


出来ますが...

自分で各水準を定義する 必要あり

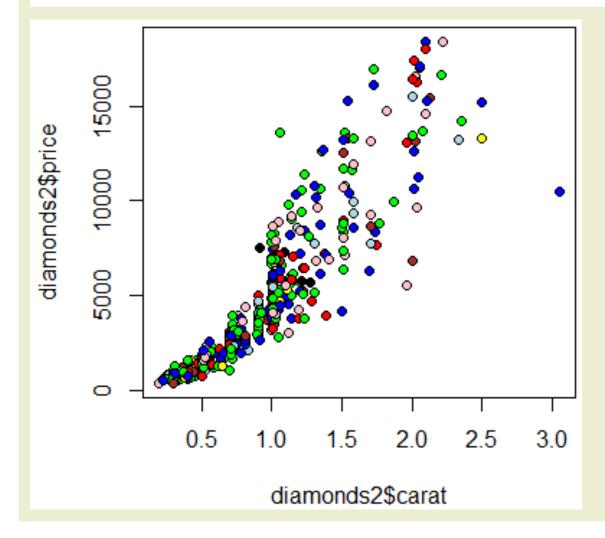
### 変数の交換

■要請①:質ではなく,透明度で区別したい



### 出来ますが...

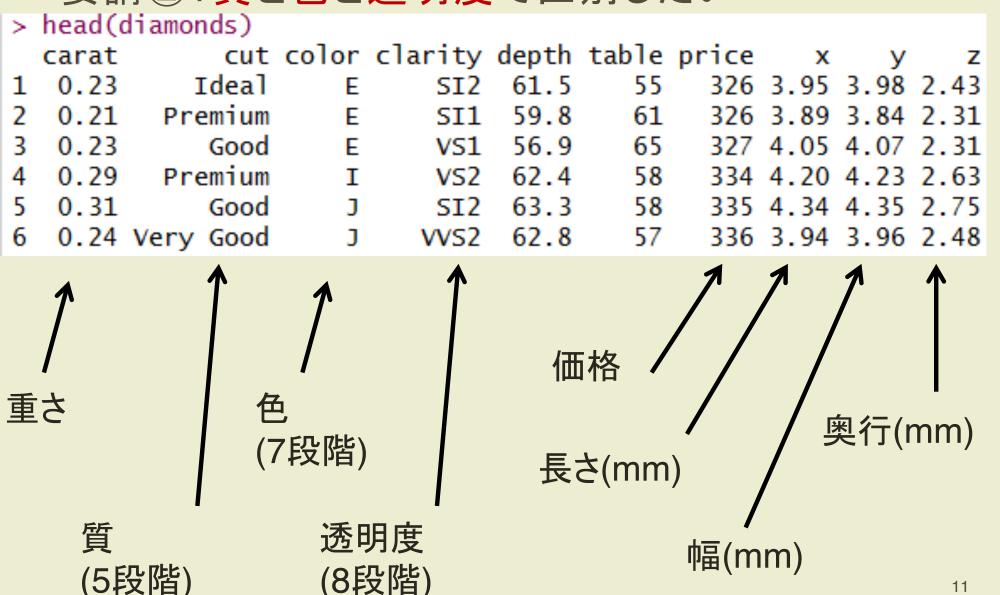
plot(diamonds2\$carat,diamonds2\$price, pch=21,bg=c("yellow","red","green","blue","pink", "brown","lightblue","black")[diamonds\$clarity])



水準数が増えた分、 塗り分ける色を 改めて定義する必要

### 変数の追加

■要請②:質と色と透明度で区別したい

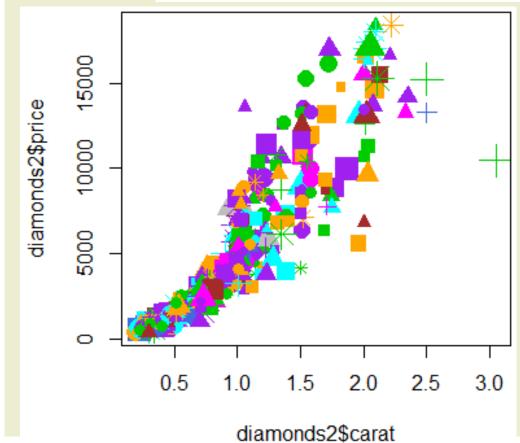


### 想像がつくと思いますが...

- ■基準(要因)の数
- ■水準(条件)の数

- ・・・が増えるにしたがい, 「区別の仕方」も定義する必要
- ■例: 質(5段階)と色(7段階)と透明度(8段階)で区別したい
  - ■5+7+8=20通りの指定

### 変数が増えるほど大変...



### そこでggplot2 packageの出番

### 重さと価格の関係をみる

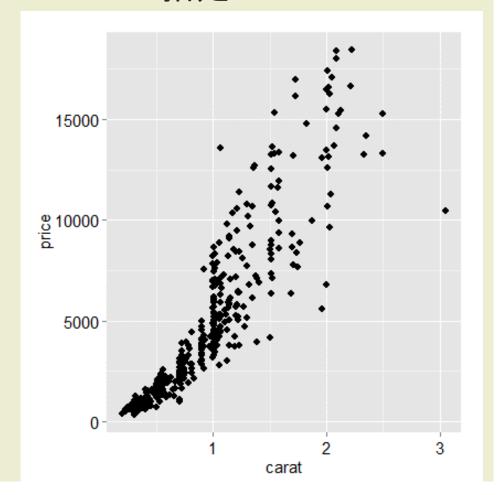
✓ データフレーム

ggplot(diamonds2,aes(y=price,x=carat))+
 geom\_point()

aes()内で、 各軸の変数や データの弁別基準を 指定

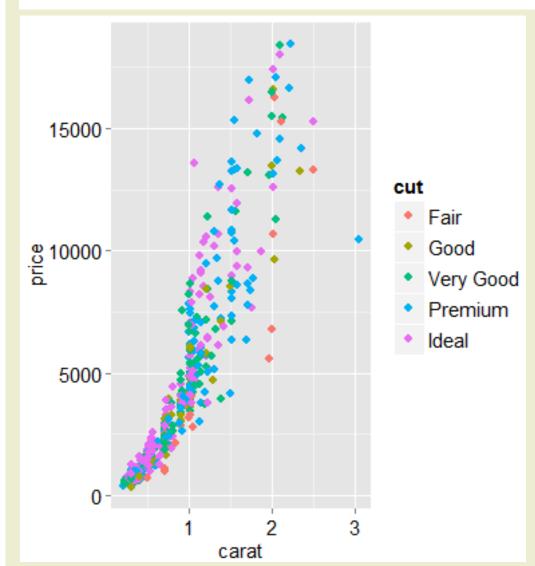
1

どのような形式で描画するか (pointなら点)



#### 質(5段階)別に、重さと価格の関係をみる

ggplot(diamonds2,aes(y=price,x=carat,color=cut))+
geom\_point()

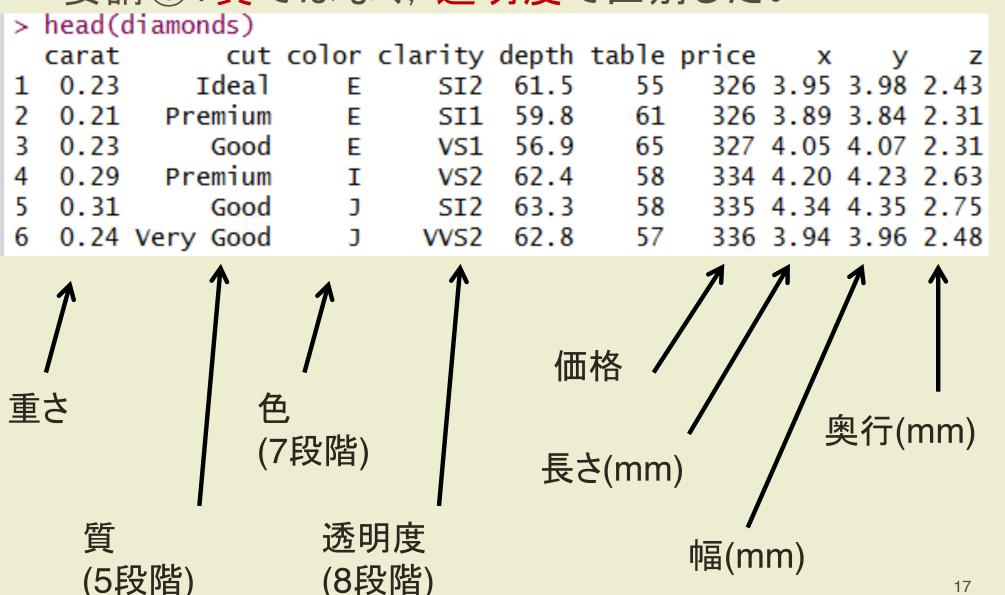


弁別基準はaes()内に

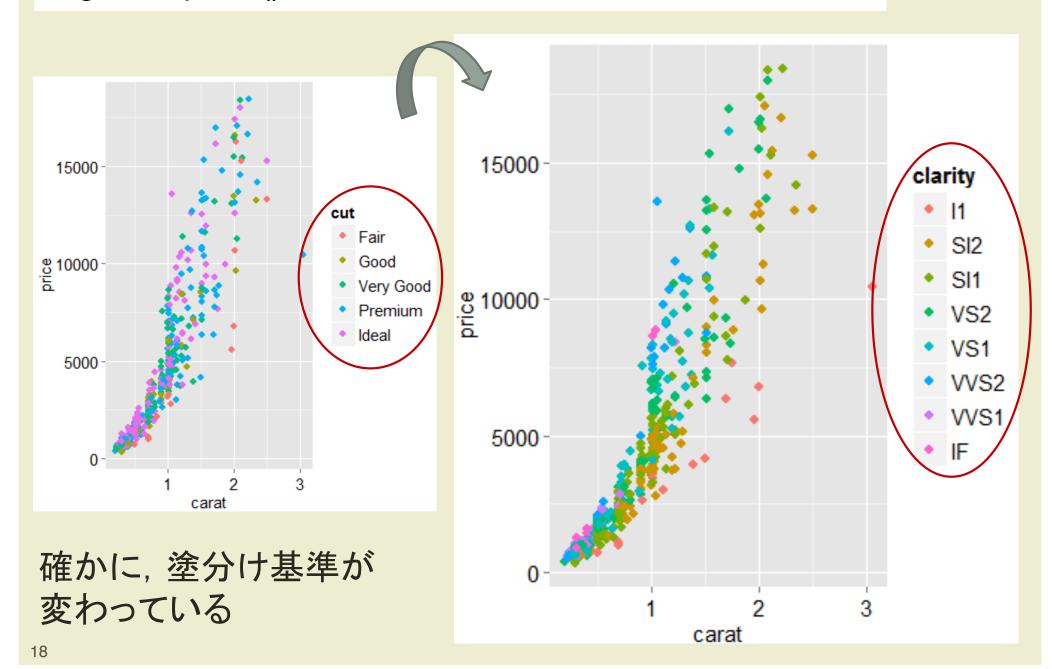
配色もさることながら, コードがすっきり!

### 変数の交換

■要請①:質ではなく,透明度で区別したい

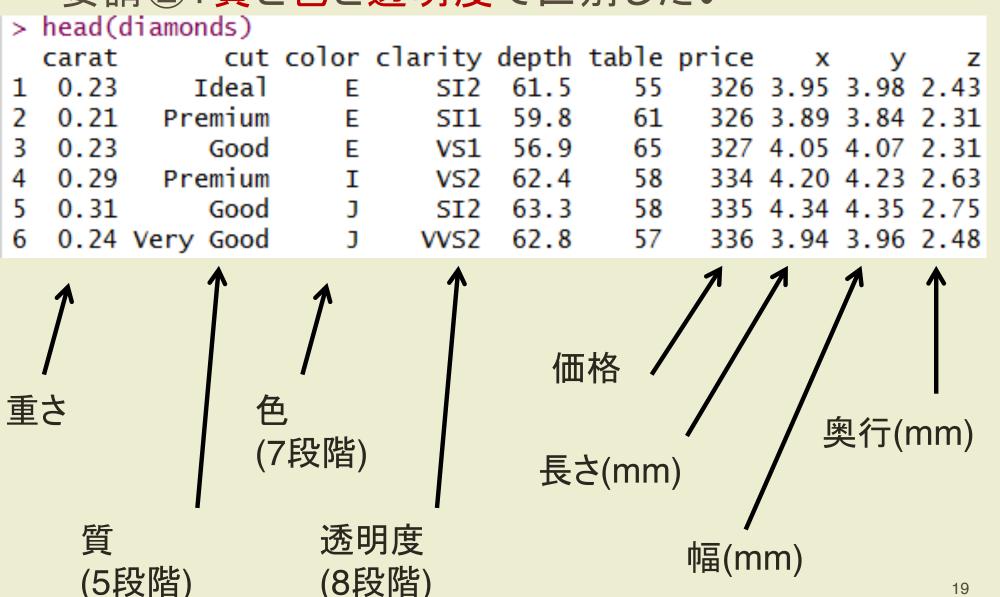


# ggplot(diamonds2,aes(y=price,x=carat,color=clarity))+ geom\_point()



### 変数の追加

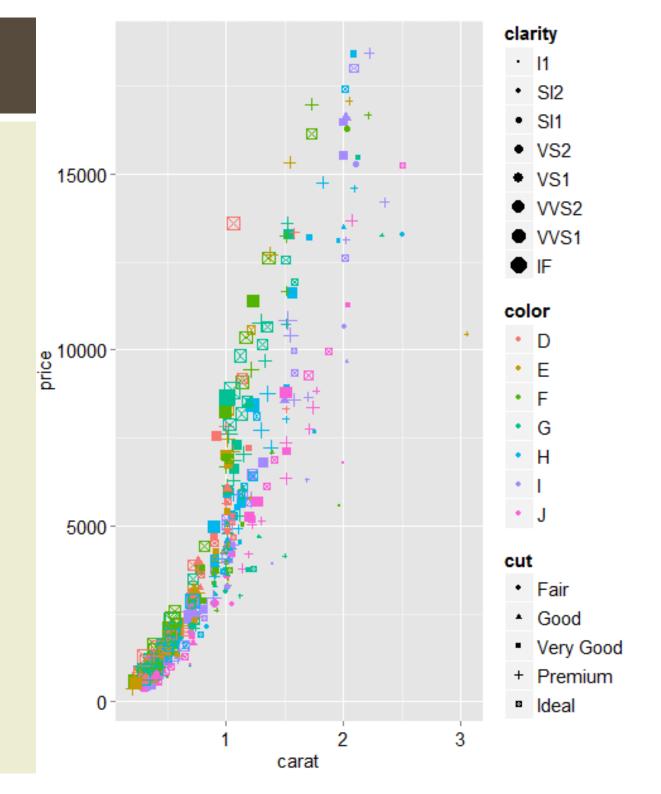
■要請②:質と色と透明度で区別したい



### 方法その1

```
ggplot(diamonds2,
    aes(y=price,x=carat,
    color=color,
    size=clarity,
    shape=cut))+
    geom_point()
```

確かに、弁別基準が 増えている



#### 小さくて分かりにくいと思うので、拡大すると...

### color

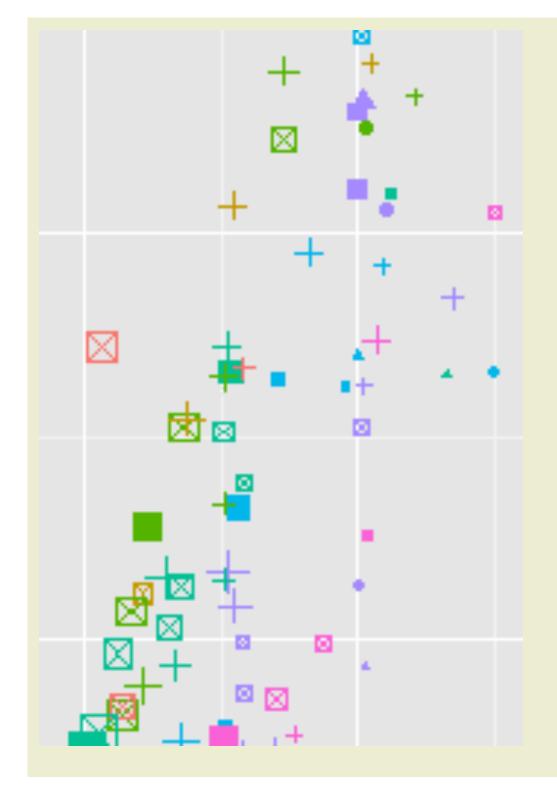
- D
- E
- ٠F
- ٠G
- H
- •
- ٠ ل

### clarity

- · 11
- SI2
- SI1
- VS2
- VS1
- VVS2
- VVS1
- IF

### cut

- Fair
- Good
- Very Good
- + Premium
- Ideal



小さくて 分かりにくいと思うので, 一部を拡大すると...

### 描画の仕組み

- ■レイヤーを重ねて図を調整
- ■例(もちろん他にも指定可能)

#### 基本レイヤー(データ指定)

ggplot(iris,aes(y=Petal.Length,x=Sepal.Length,color=Species))+

geom\_point()+

プロットの仕方の指定

theme\_bw()+

背景の指定

ylim(0,10)+

軸目盛の指定

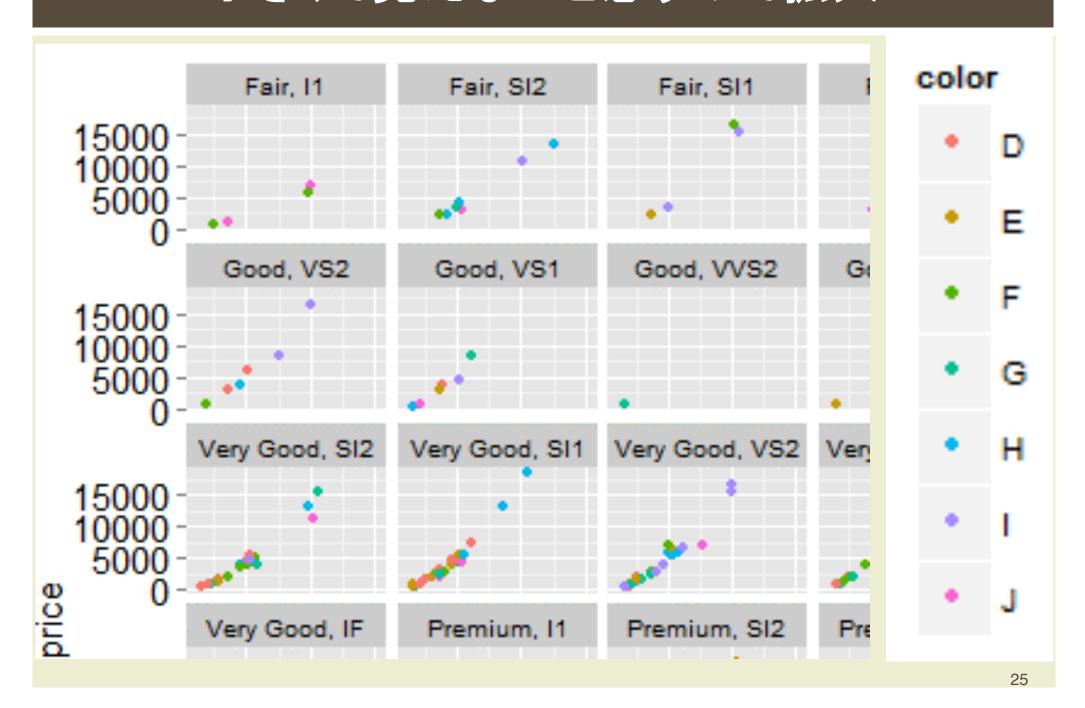
theme(axis.text.x=element\_text(size=15), axis.text.y=element\_text(size=15)) 軸の書式の指定

### 方法その2(FACETを用いる)

ggplot(diamonds2,aes(y=price,x=carat,color=color))+
 geom\_point()+
 facet\_wrap(cut~clarity)



### 小さくて見えないと思うので拡大



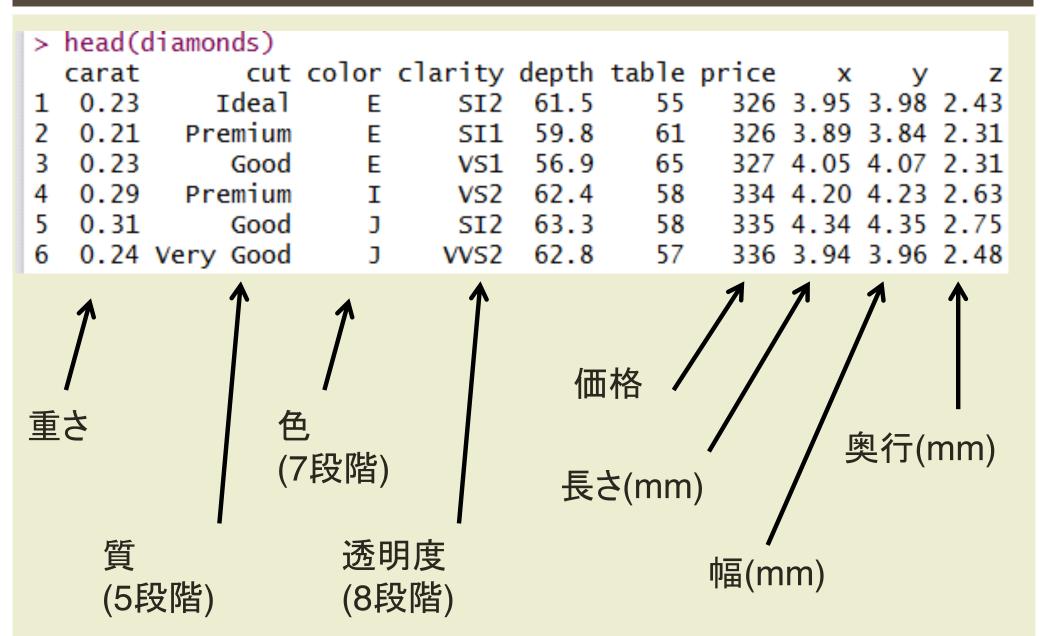
### 本日の発表の目的

- ■可視化ツールとしてのggplot2の紹介
  - ①すでに要約されたデータをグラフ化する
    - ■例: A群は平均3点, B群は平均5点(t(19)=3.25,p<.05)
      - ■慣習的に行われる,文字 → 図 の変換を補助する役割
  - ■②探索的に,変数(間の関係)を理解する
    - ■ごちゃごちゃしたデータ(Row data)を用いることも多い
      - ■変数を入れ替えやすいこと
      - ■複数の変数を同時に表示しやすいこと

が重要

■③データを視覚的に要約する

### たとえデータが53940行もあったって



### 一気に視覚的に要約

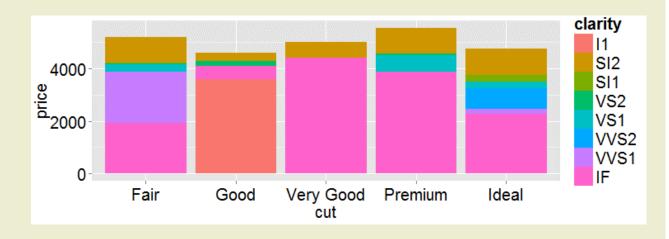
■例えば、質(5段階)別に価格の平均をみたい

ggplot(diamonds,aes(y=price, x=cut))+
 stat\_summary(fun.y=mean, geom="bar")



### ■例えば, 質と透明度別に価格の平均をみたい

ggplot(diamonds,aes(y=price,x=cut,fill=clarity))+
 stat\_summary(fun.y=mean,geom="bar")

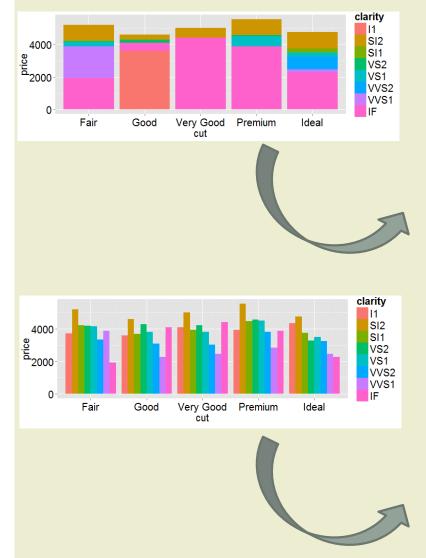


ggplot(diamonds,aes(y=price,x=cut,fill=clarity))+
stat\_summary(fun.y=mean,geom="bar",position= "dodge")

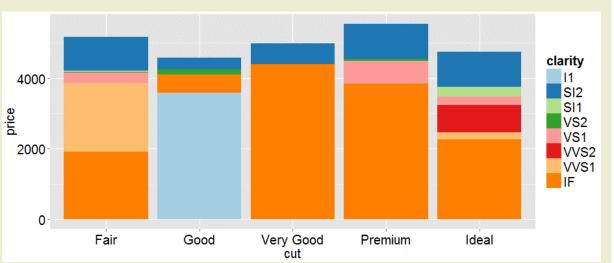


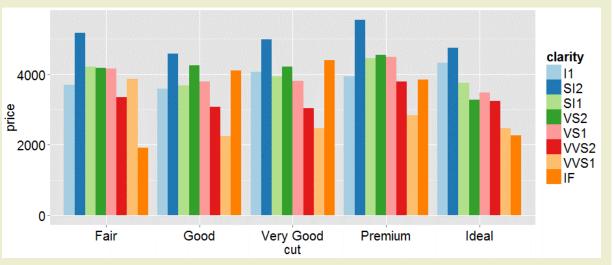
### 色セットを変えたくなったら

### ■あっという間



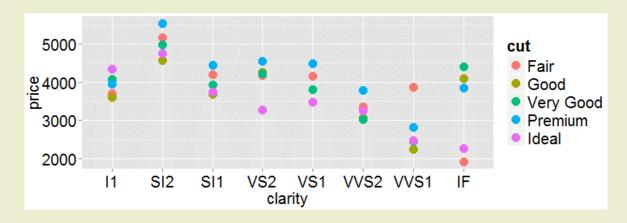
30



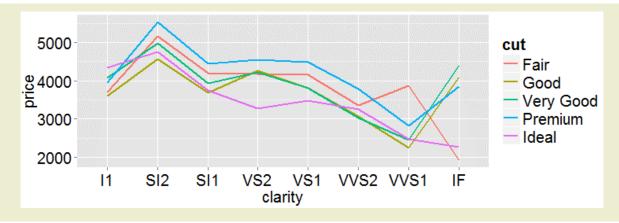


### レイヤーを重ね描き出来るということは...

ggplot(diamonds,aes(y=price,x=clarity,group=cut,color=cut))+
 stat\_summary(fun.y=mean,geom="point")

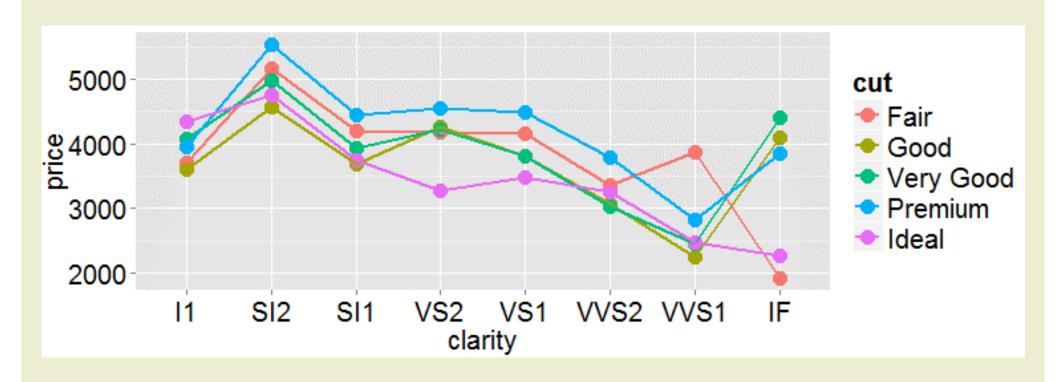


ggplot(diamonds,aes(y=price,x=clarity,group=cut,color=cut))+
 stat\_summary(fun.y=mean,geom="line")

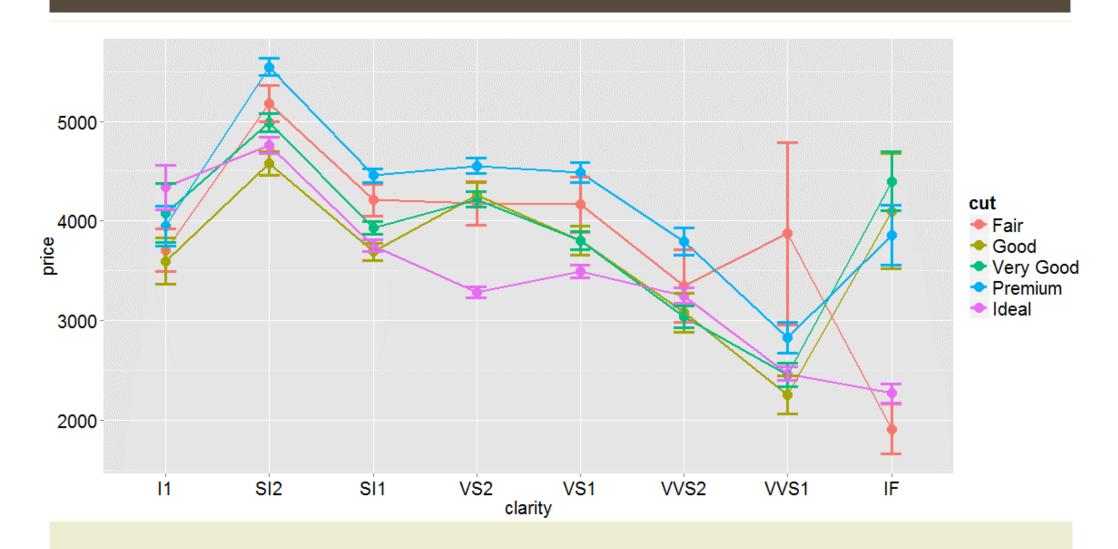


#### ■レイヤーの重ね描きの成せるわざ

ggplot(diamonds,aes(y=price,x=clarity,group=cut,color=cut))+
 stat\_summary(fun.y=mean,geom="line")+
 stat\_summary(fun.y=mean,geom="line")



### エラーバーだってあっという間

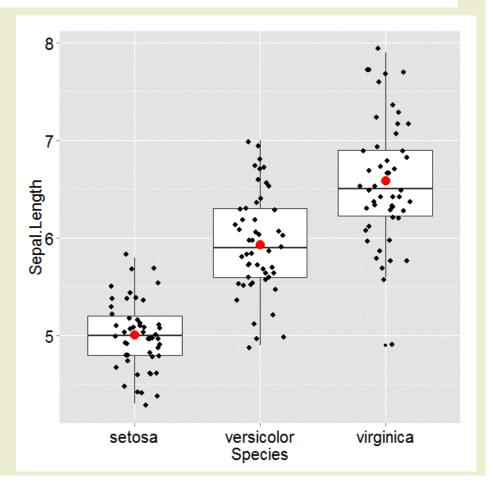


53940行×10列のデータも, 数行でここまで仕上げることが出来る

### 代表値だけでなく、各計測値も重畳可能

```
ggplot(data=iris,aes(y=Sepal.Length,x=Species))+
    geom_boxplot()+
    stat_summary(fun.y=mean,geom="point",color="red")+
    geom_jitter(position=position_jitter())
```

- ■箱ひげ図+
- ■平均値
- ■各計測値



# Let's enjoy ggplot2!